

雄飛



向陽高校進路便り第11号
令和8年4月13日(月)
～挑夢努々～

33期生共通テストまで

1010日!



模試について知ろう! ①



1年生の皆さん、向陽高校へ入学してそろそろ1週間ほどになりますが、学校生活には慣れましたか？先日は「スタディーサポート」の取り組み、お疲れ様です。入学早々のテストは驚きや緊張があったと思いますが、本校に入学することのできた皆さんなら、思った通りの実力を発揮することができたのではないのでしょうか？テストの結果はある程度の日程が必要になりますので、しばらく待っててください。

今回は「**模試**」についての紹介です。

「模試」、「模擬試験」など高校受験の際に何度か聞いたことある言葉ではないでしょうか？

本校では1年を通してたくさんの「**模試**」が開催されます。

模試の違いと活用方法について紹介していきます。

1. 学校のテストと何が違うのか？

「模擬試験」は学校の「期末試験」と同じテストに分類されますが、目的が異なります。期末テストが授業内容の定着確認が主な目的である一方、模擬試験は高校・大学進学など**進路に応じた自分の学力の立ち位置を確認することが目的**となっています。そして、定期テストは同じ学校内の同級生と比較されるのに対し、**模試は同じ志望校を目指す受験生や県内・全国の同級生と比較**できます。したがって、早くから模試に取り組むことで自分の立ち位置を把握して希望進路をつかむチャンスを高めることができます。

2. 「必修模試」と「希望者模試」とは？

本校では「必修模試」と「希望者模試」の2つを実施しています。「**必修模試**」とは、その名の通り、**全校生徒が受験することになっている模試**のことを指します。進研ゼミが実施する模試であることから「**進研模試**」と呼ばれています。1年生は年間で7月・11月・1月の3回、この模試を受験します。

「**希望者模試**」は、**全校生徒の中から希望者のみが受験する模試**のことを指します。本校では2つの種類(河合・駿台)の模試を年間で合計4~6回受験することが可能です。希望者模試の特徴は、模試そのものの「**レベルの高さ**」です。**希望者模試では必修模試よりも難しい問題を中心に出題されます**。県外の難関大学を目指している人には重要な模試となっています。レベルが高いことで受験者数も限られてしまうため、**県内、全国の上位層の中におけるあなたの実力を測ることが**できます。最初の頃は全く解くことのできない難しい問題でも、自身の実力を把握しながら勉強し、受験回数を重ねることで、解くことができるようになっていきます。

希望の進路をあなた自身の力でつかみ取るために「模試」について早いうちから意識し、取り組んでみてください。

☆次回は「希望者模試」(河合・駿台)の違いについて説明します!